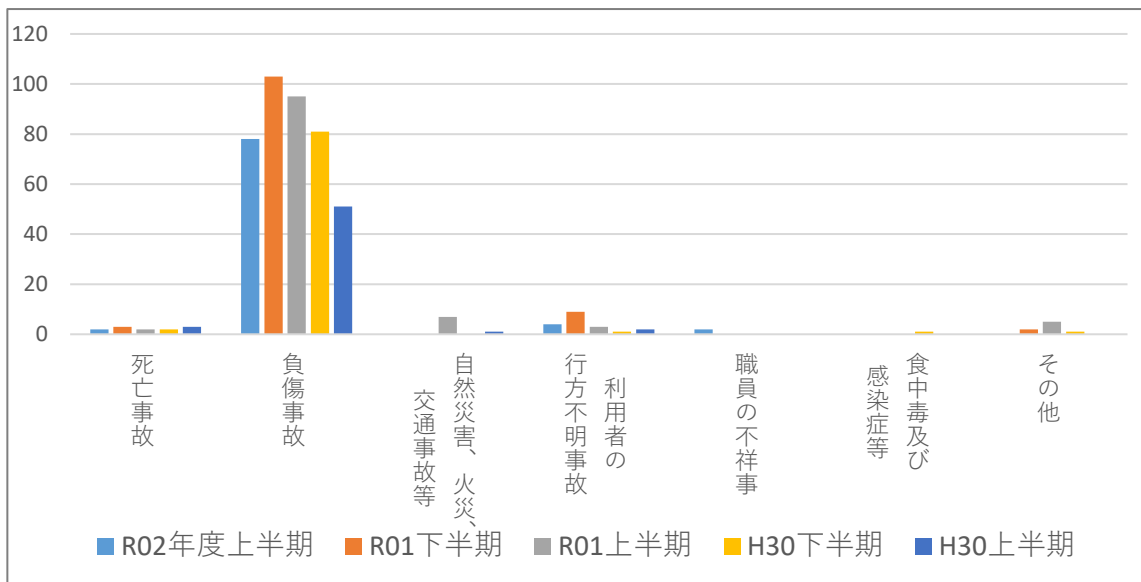


令和2年度上半期分(※)事故報告について

※ 令和2年4月1日から令和2年9月30日までの間に速報を受理した事故報告について集計を行ったものです

1 事故の種別

	死亡事故	負傷事故	自然災害、火災、 交通事故等	利用者 の 行方不明事故	職員 の 不祥事	食中毒及び 感染症等	その他	合計
R02年度上半期	2	78	0	4	2	0	0	86
R01下半期	3	103	0	9	0	0	2	117
R01上半期	2	95	7	3	0	0	5	112
H30下半期	2	81	0	1	0	1	1	86
H30上半期	3	51	1	2	0	0	0	57



令和2年度上半期の事故報告件数は、3期ぶりに減少に転じました。これは、新型コロナウイルス感染症対策による通所系サービスを中心とした利用控え等が影響し、利用者そのものが少なかったためと推察されます。

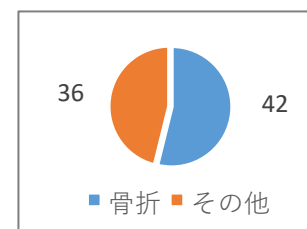
また、令和2年度上半期の負傷事故(78件)の内訳は、骨折が42件であり、全体の50%強でした。

この割合は過去数期の中で最も少なく、相対的に剥離等の軽度の負傷の報告が多く見られました。

前述の新型コロナウイルス感染症と同様、

利用者1人当たりの職員数が多かった事業所もあると聞かため、

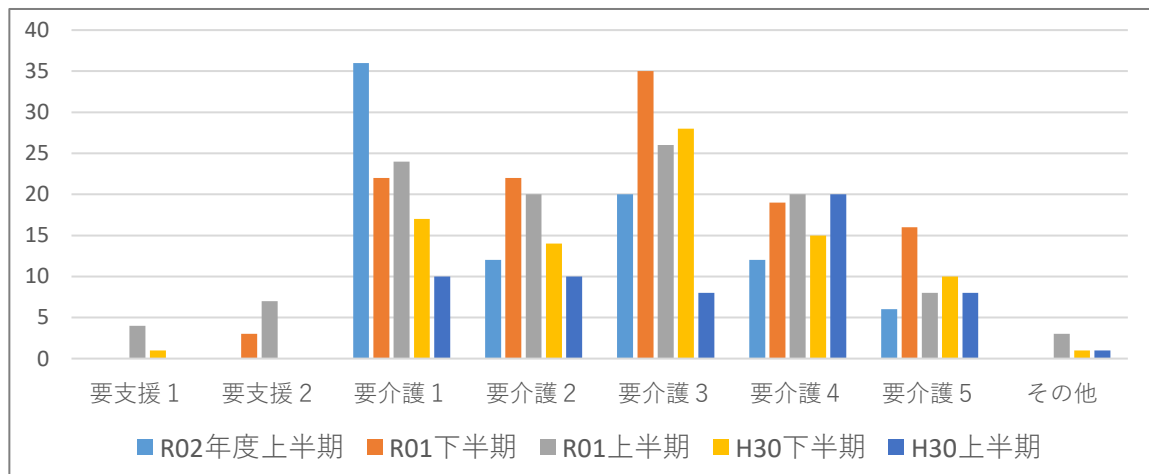
利用者への目配りが行き届いており、重大事故が未然に防げていた可能性があります。



死亡事故は全て食事時の誤嚥による窒息によるもので、宿泊系、通所系いずれの施設でも発生しています。これは、今期に限った傾向ではないため、サービス種別を問わず食事の提供時には異変にすぐに対応できるよう、事業所に対し注意喚起を行っていきます。

2 要介護度別事故発生件数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
R02年度上半期	0	0	36	12	20	12	6	0	86
R01下半期	0	3	22	22	35	19	16	0	117
R01上半期	4	7	24	20	26	20	8	3	112
H30下半期	1	0	17	14	28	15	10	1	86
H30上半期	0	0	10	10	8	20	8	1	57



3 事故発生サービス種別と時間帯

サービス種別	件数
通所介護／通所リハビリテーション	14
短期入所生活介護／短期入所療養介護	17
特定施設入居者生活介護	7
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	18
介護老人保健施設	7
認知症対応型共同生活介護	19
小規模多機能型居宅介護／看護小規模多機能型居宅介護	2
その他	2
(合計) ※サービスには予防も含む	86

	宿泊系	訪問・通所系	合計
早朝 (6:00～8:00)	8	0	8
日中 (8:00～18:00)	32	17	49
夜間 (18:00～22:00)	13	0	13
深夜 (22:00～6:00)	13	1	14
不明	2	0	2
(合計)	68	18	86

令和2年度上半期では要支援者の事故報告はありませんでした。これも前述の新型コロナウイルス感染症に係る利用控えが影響しているものと考えられます。事故発生時間帯は前期に引き続き日中が多く、その9割が負傷事故となっています。